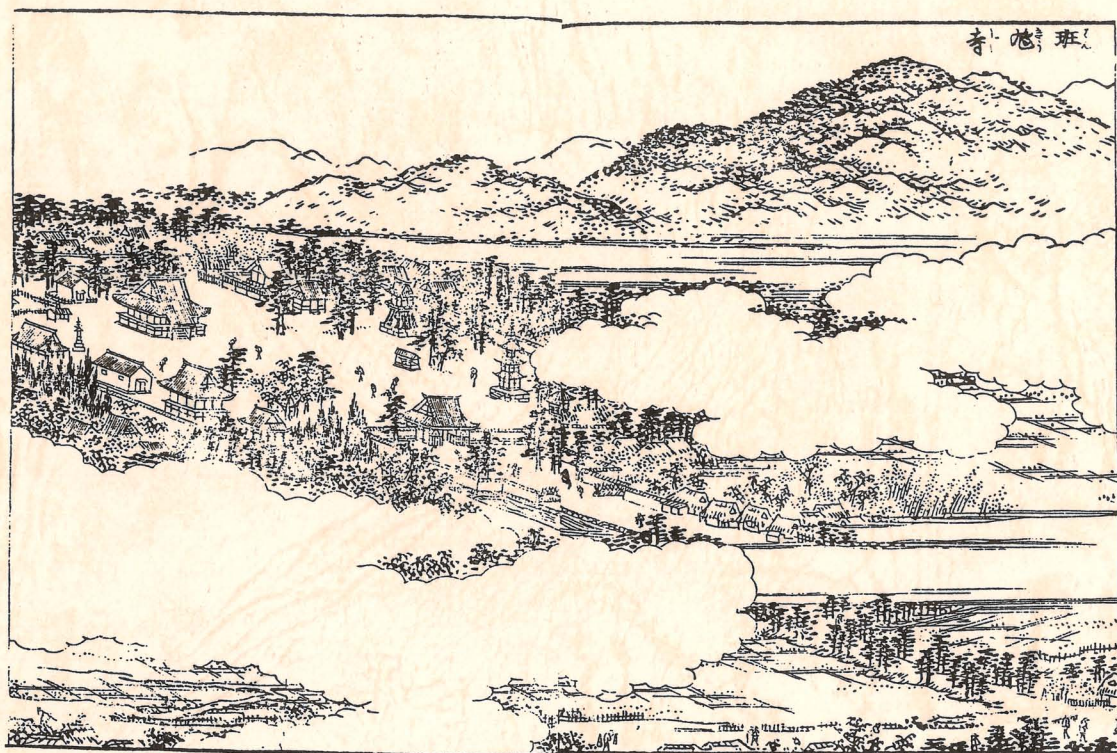


斑鳩寺遺跡 第6次調査

—防火水槽設置に先立つ埋蔵文化財発掘調査—



2001年3月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町鶴字二王前 678-1 番地において防火水槽設置に先立ち実施した埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。
2. 調査は、平成6年12月1日から27日にかけて実施したものである。
3. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、海野浩幸が担当した。
4. 調査にあたっては、田中建設株式会社、太子町シルバー人材センターの協力を得た。
5. 整理作業にあたっては、井上道子、岩村千穂、改発法子、中村豊子、藤井昭子の協力を得た。
6. 本書で使用した座標は、国土座標第V系を基準とした。
7. 基準点測量は、喜多村測量株式会社に委託した。
8. 本書の執筆・編集は、三村修次、海野浩幸が担当した。



埋め戻し風景

本文目次

例言

調査に至る経過	1
調査の概要	3
出土遺物	4
まとめ	11

挿図目次

第1図 調査位置図	1
第2図 トレンチ設定図	1
第3図 播磨国揖東郡鷗村絵図	1
第4図 トレンチ平面・土層実測図	2
第5図 井戸実測図	3
第6図 斑鳩寺二王前絵図	3
第7図 築地東側溝出土遺物実測図	4
第8図 築地基壇断ち割り出土遺物実測図	5
第9図 井戸掘り方上層出土遺物実測図(1)	5
第10図 井戸掘り方上層出土遺物実測図(2)	6
第11図 井戸内出土遺物実測図(1)	7
第12図 井戸内出土遺物実測図(2)	8
第13図 井戸内出土遺物実測図(3)	9
第14図 整地層出土遺物実測図(1)	10
第15図 整地層出土遺物実測図(2)	11
第16図 播磨名所巡覧図絵	12
第17図 播磨国斑鳩寺図	12

図版目次

図版1 調査前	調査地全景	築地基壇と斑鳩寺
図版2 築地基壇	築地基壇土層	井戸

斑鳩寺遺跡 第6次調査

1. 所在地

兵庫県揖保郡太子町鶴字二王前 678-1 番地

2. 調査主体者

兵庫県揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課

三村修次、海野浩幸

4. 調査期間

平成6年12月1日～27日

5. 調査面積

45m²



第1図 調査位置図

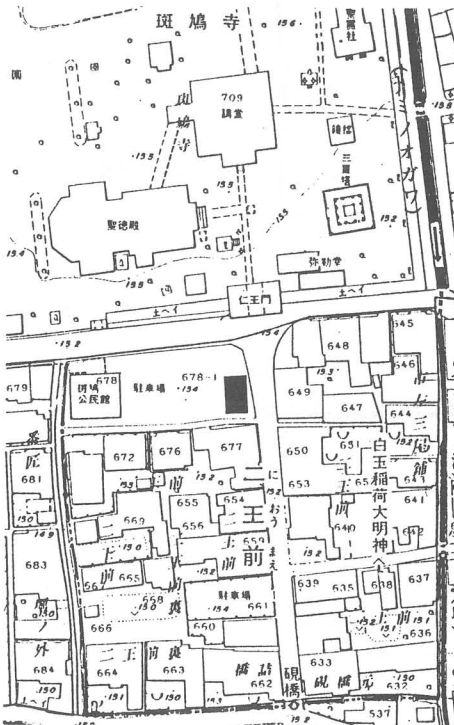
(国土地理院 1/25,000「龍野・網干」)

6. 記録作成

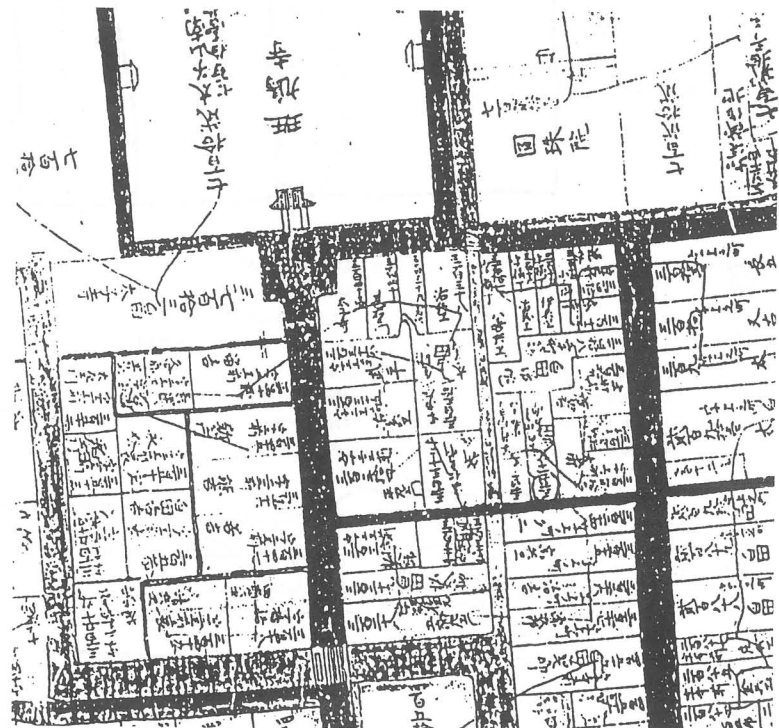
遺構実測図 (1/10・1/20)、土層断面実測図 (1/20)、遺物実測図 (1/1)、写真記録 (カラー/モノクロ/カラーリバーサル 35mm・カラー 6×7版)、国土座標記録

7. 調査に至る経過

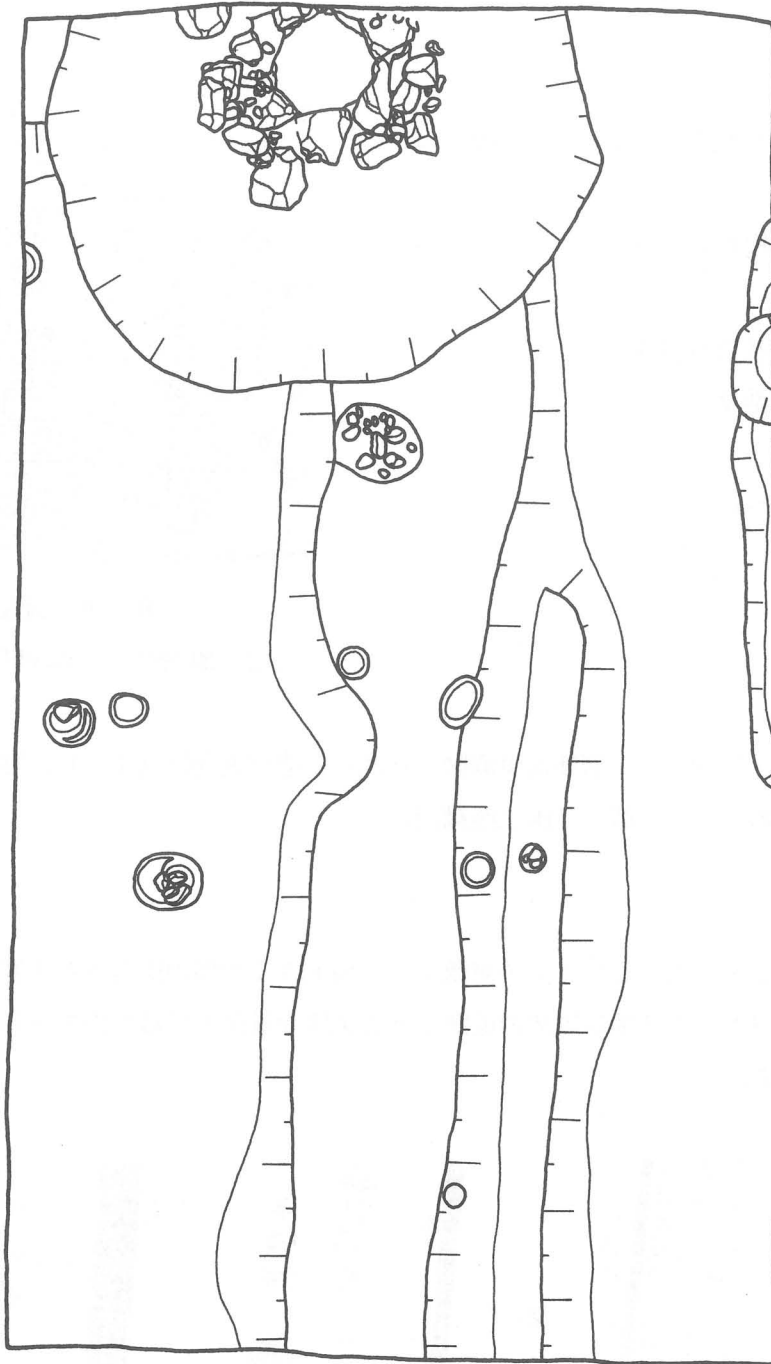
地域防災体制整備事業の一環として、太子町鶴字二王前 678-1 番地の斑鳩寺参拝客用駐車場において防火水槽の設置が計画され、当該地は周知の遺跡である斑鳩寺遺跡の包蔵地内であることから、発掘調査を実施することにした。



第2図 トレンチ設定図 (1/2,000)



第3図 播磨国揖東郡鶴村絵図・部分 (明治6年 1873)

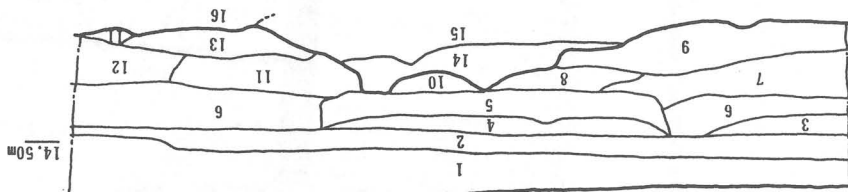
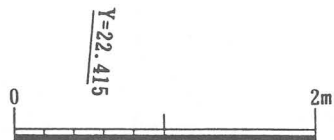


X=-129.380

X=-129.385

Y=22.410

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. アスファルト・盛土 | 9. 褐色土・東側溝埋土 |
| 2. 暗灰褐色土・盛土 | 10. 暗灰褐色礫混じり土 |
| 3. 灰褐色土 | 11. 褐色土・西側溝埋土 |
| 4. 灰褐色土・攪乱層 | 12. 褐色土(小円礫混じり)・西側溝埋土 |
| 5. 黒褐色土・攪乱層 | 13. 灰褐色砂礫・西側溝埋土 |
| 6. 灰褐色土(瓦・円礫混じり)・整地層 | 14. 淡灰黄色土・地山 |
| 7. 黄褐色土(漆喰片混じり)・東側溝埋土 | 15. 淡黄色土・地山 |
| 8. 淡灰黄色土・東側溝埋土 | 16. 灰色砂礫・地山 |



第4図 トレンチ平面・土層実測図

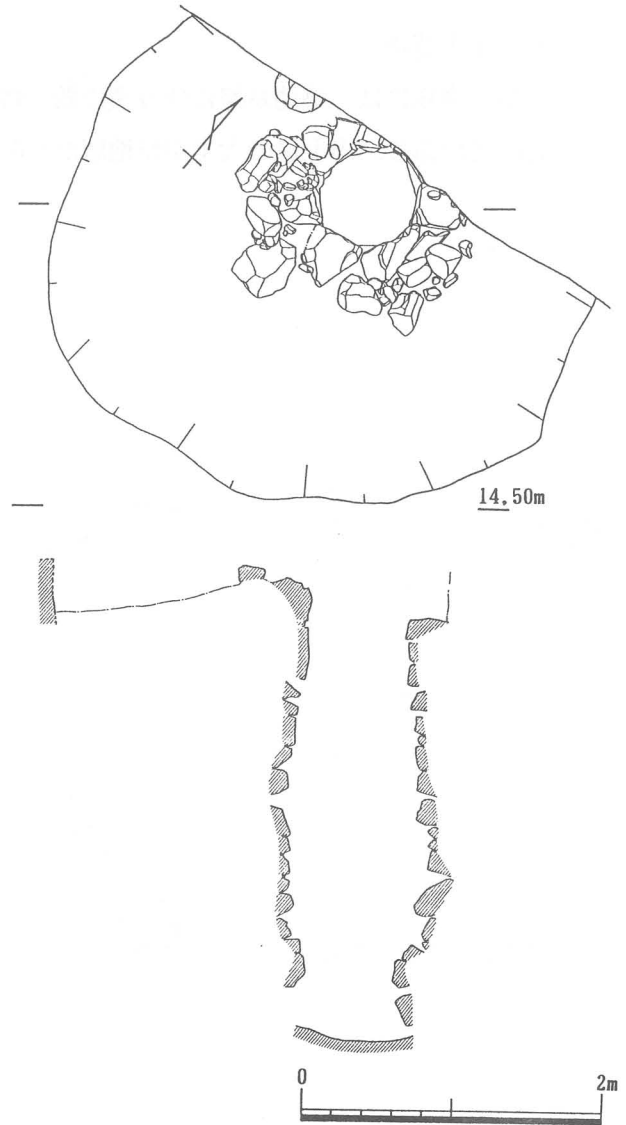
8. 調査の概要

調査は、防火水槽設置予定箇所に5×9mのトレンチを設定して実施した。調査の結果、斑鳩寺参道西側築地基壇、土坑、柱穴、明治時代以降の石組井戸を検出した。

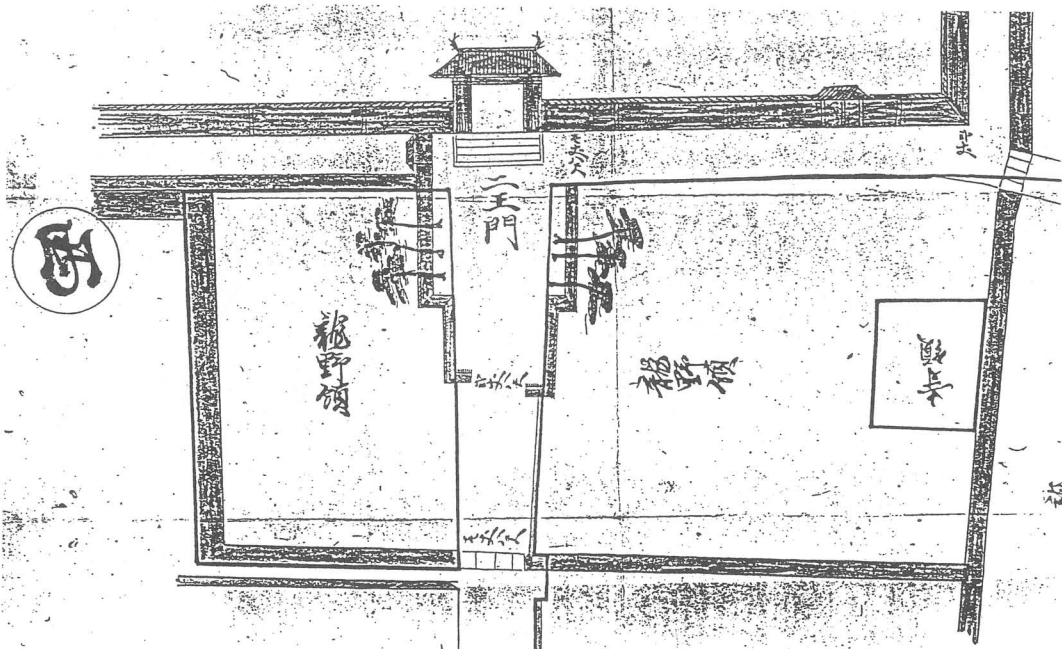
築地基壇はトレンチ中央部で南北方向に検出され、淡黄色の地山を幅約1.2mに削り出しており、高さ約10cmが残存していた。外内（東西）には側溝が設けられており、外（東）側溝は深さ約30cm、内（西）側溝は深さ約40cmを測る。

両側溝とも幅は調査区外にのびるため不明である。遺物は外（東）側溝から須恵器・土師器が、内（西）側溝からは少量の須恵器の細片が出土しただけである。基壇断ち割り部上層からは須恵器・土師器・青磁が出土している。

石組井戸はトレンチ北端で検出され、築地基壇を切って掘り込まれている。掘り方の規模は約1/2が調査区外にのびているが、最大径3.74mを測る。石組は内径65cm、深さ3.2mを測り、比較的大きな角礫と河原石が混用して積まれている。底部での胴木、木杵等は用いられていなかった。遺物は井戸内からガラス・陶磁器・備前焼・瓦・石臼片が出土した。



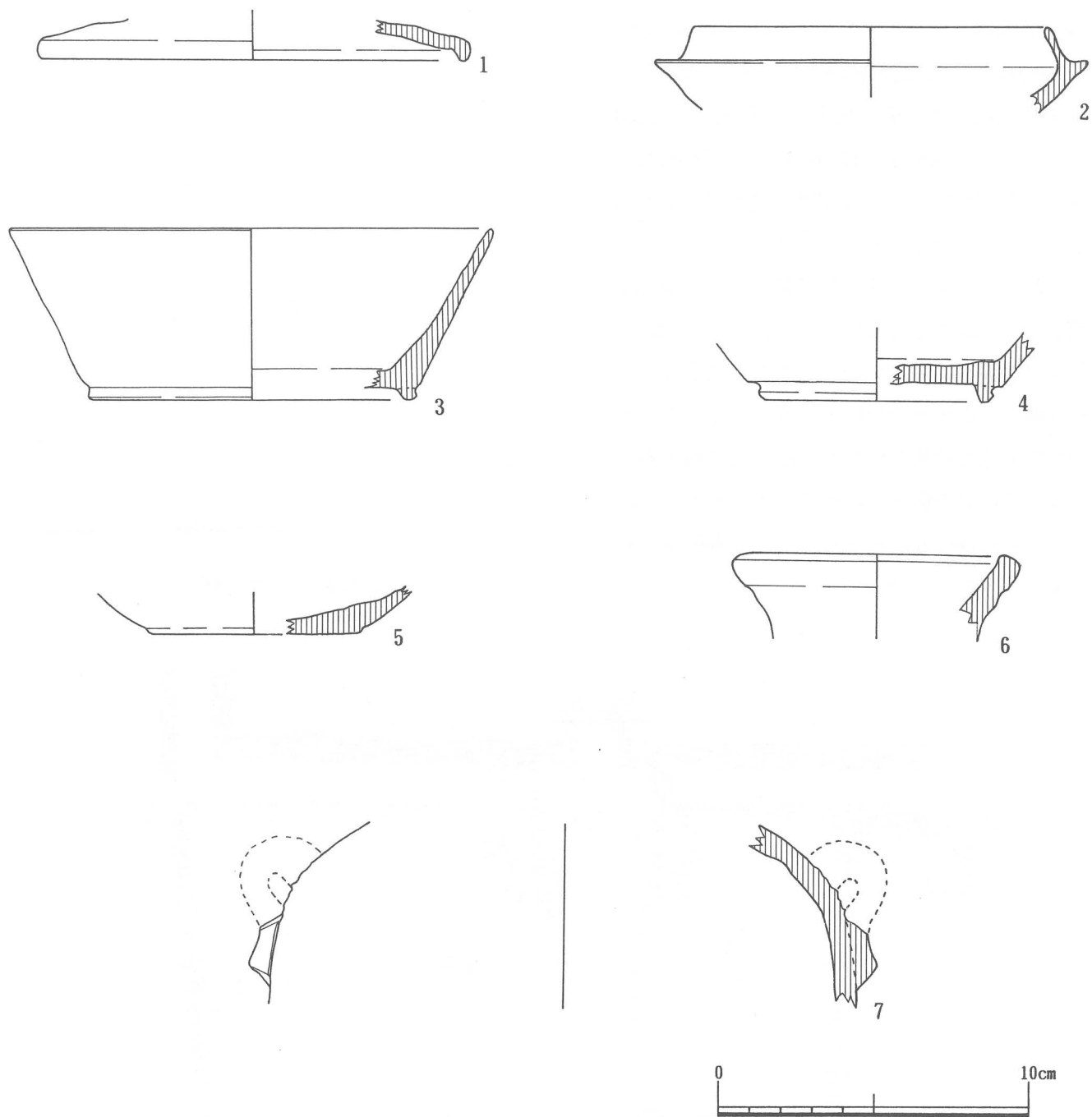
第5図 井戸実測図



第6図 斑鳩寺二王前絵図・部分（年不詳）

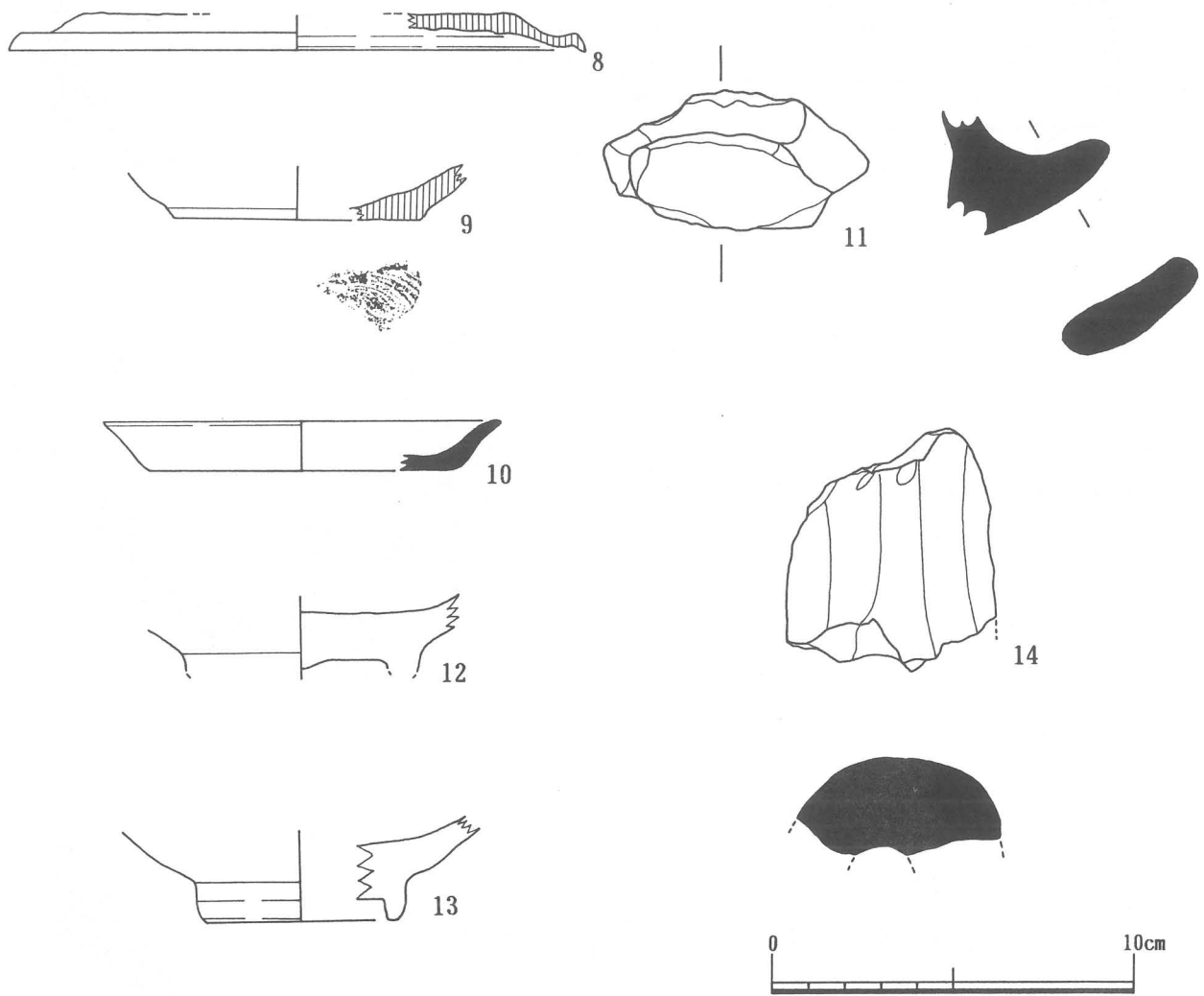
9. 出土遺物

出土遺物には、築地基壇に伴う須恵器・青磁・土師器、井戸及び整地層からの陶磁器・備前焼・瓦・石臼等がある。出土量の大半が整地層からの近世陶磁器で占められている。



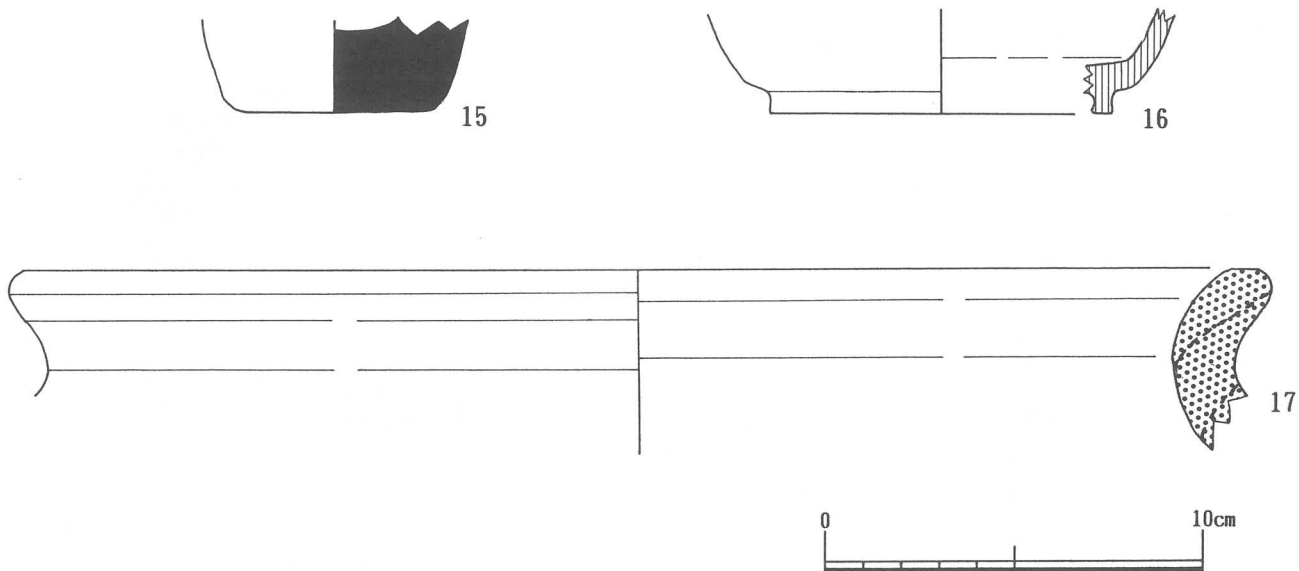
1~7. 須恵器

第7図 築地東側溝出土遺物実測図



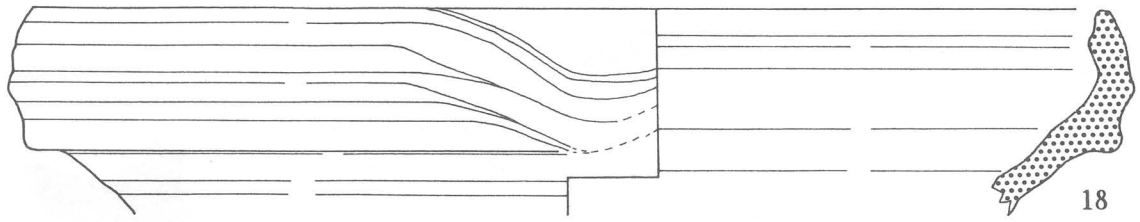
8. 9. 須恵器 10. 11. 土師器 12. 13. 青磁 14. 轆羽口

第8図 築地基壇断ち割り出土遺物実測図

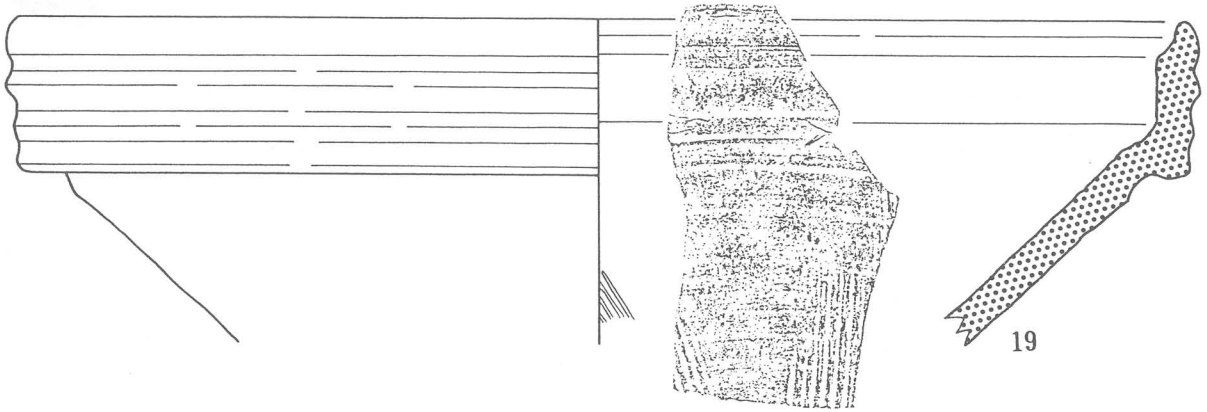


15. 弥生式土器 16. 須恵器 17. 備前焼

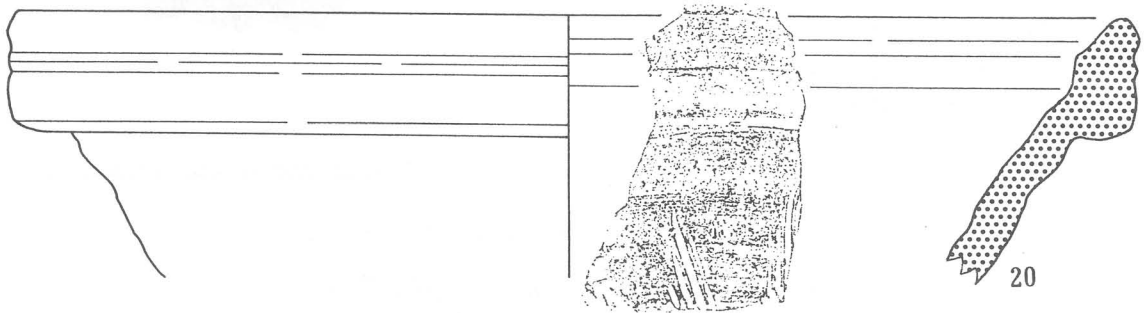
第9図 井戸掘り方上層出土遺物実測図(1)



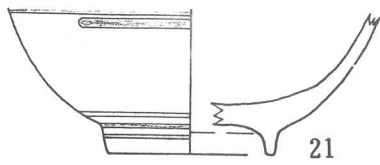
18



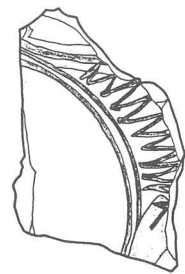
19



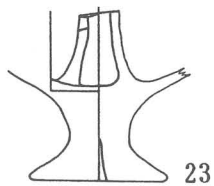
20



21



22

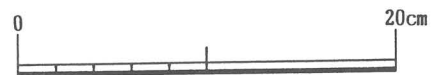
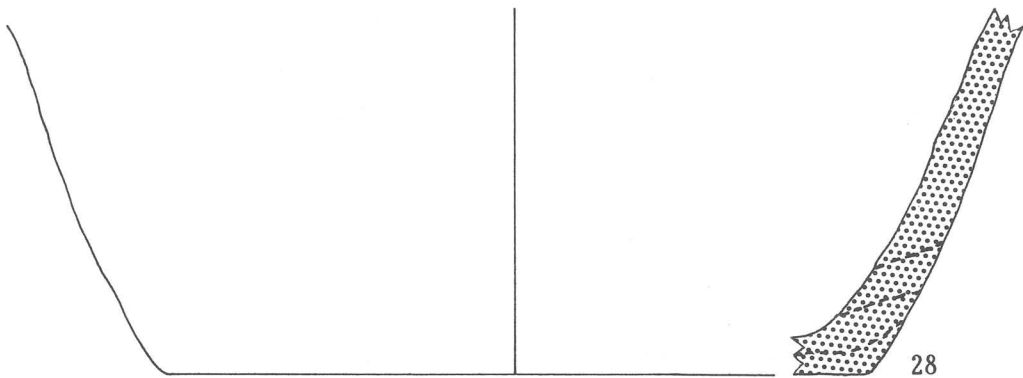
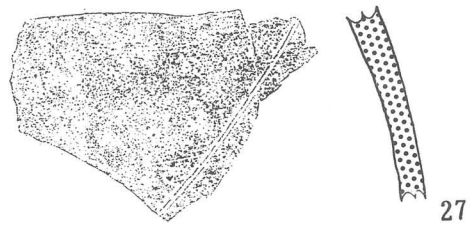
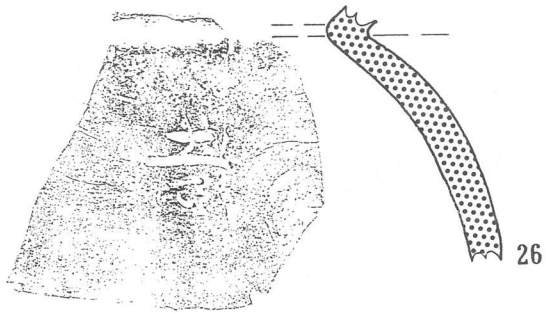
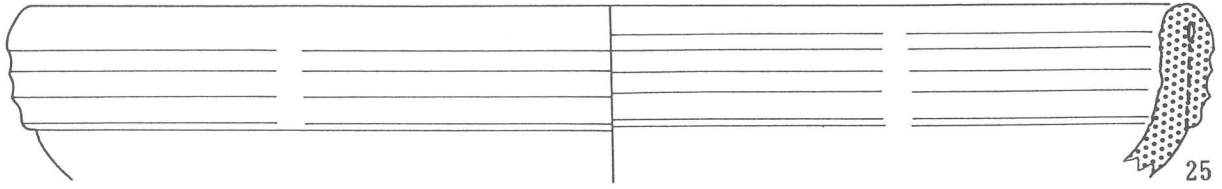
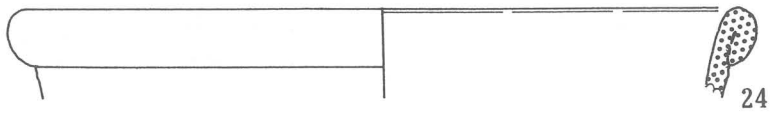


23



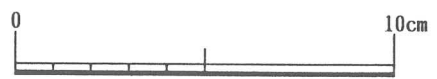
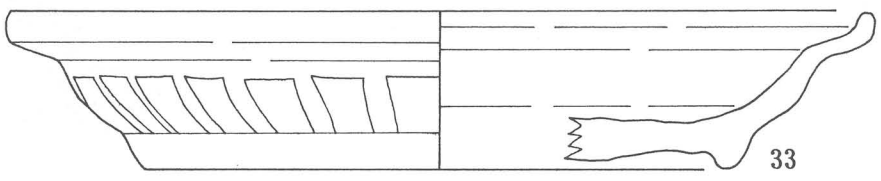
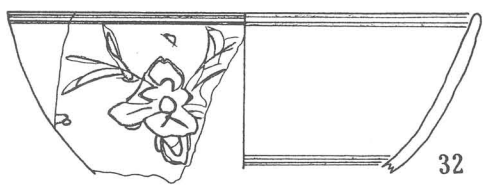
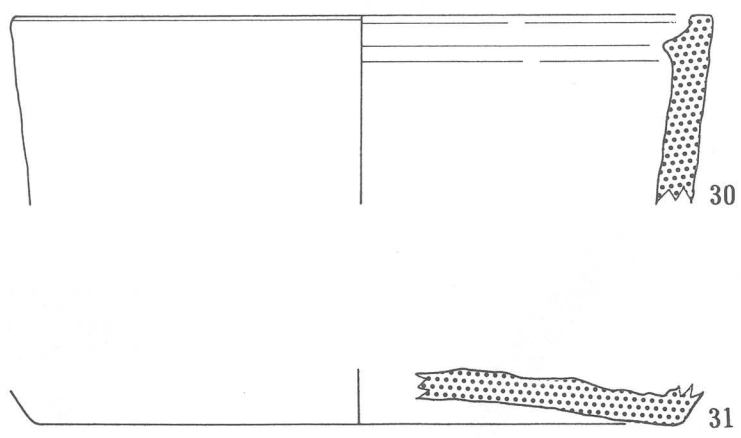
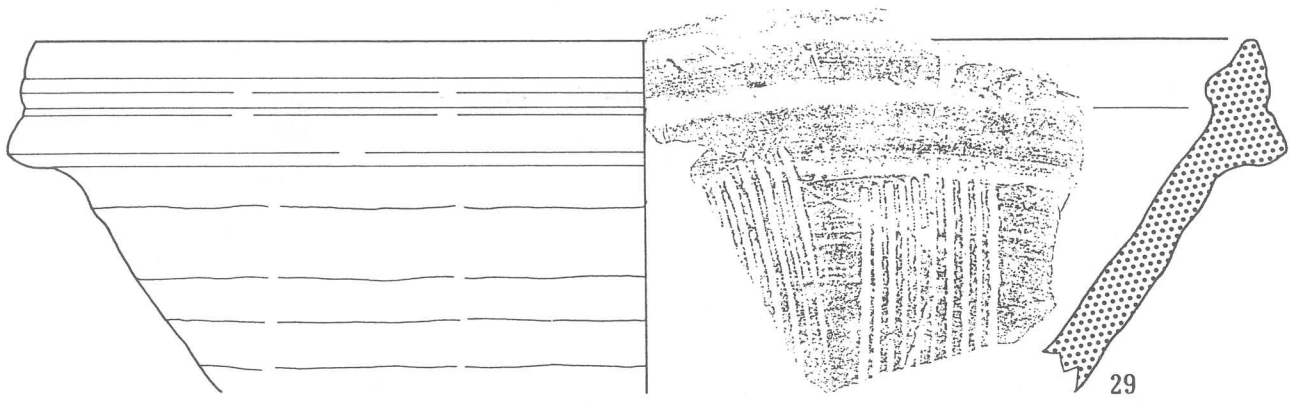
18~20. 備前焼 21. 22. 染付磁器 23. 施釉陶器

第10図 井戸掘り方上層出土遺物実測図(2)

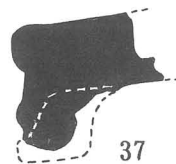
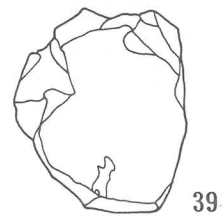
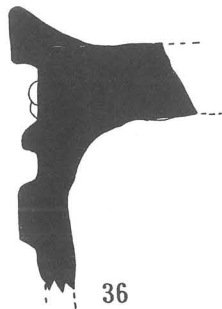
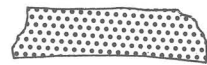
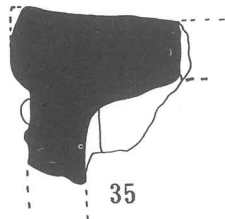
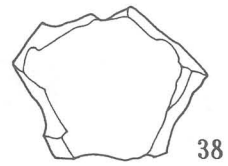
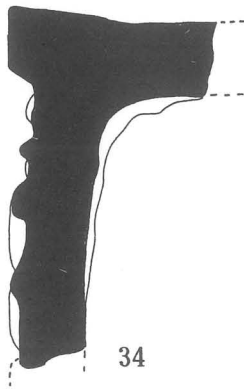


24~28. 備前焼

第11図 井戸内出土遺物実測図(1)

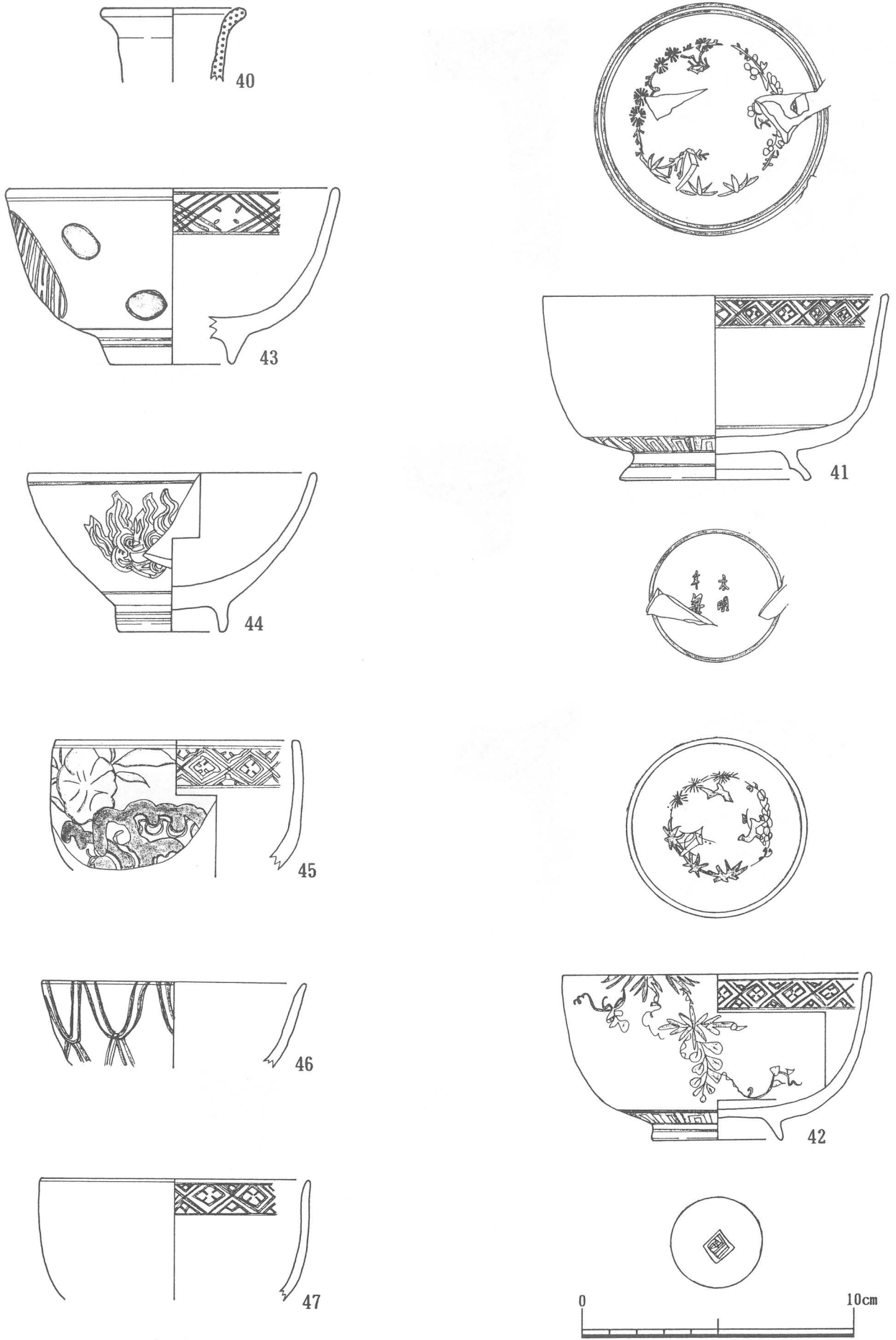


29~31. 備前焼 32. 染付磁器 33. 青磁
 第12図 井戸内出土遺物実測図(2)



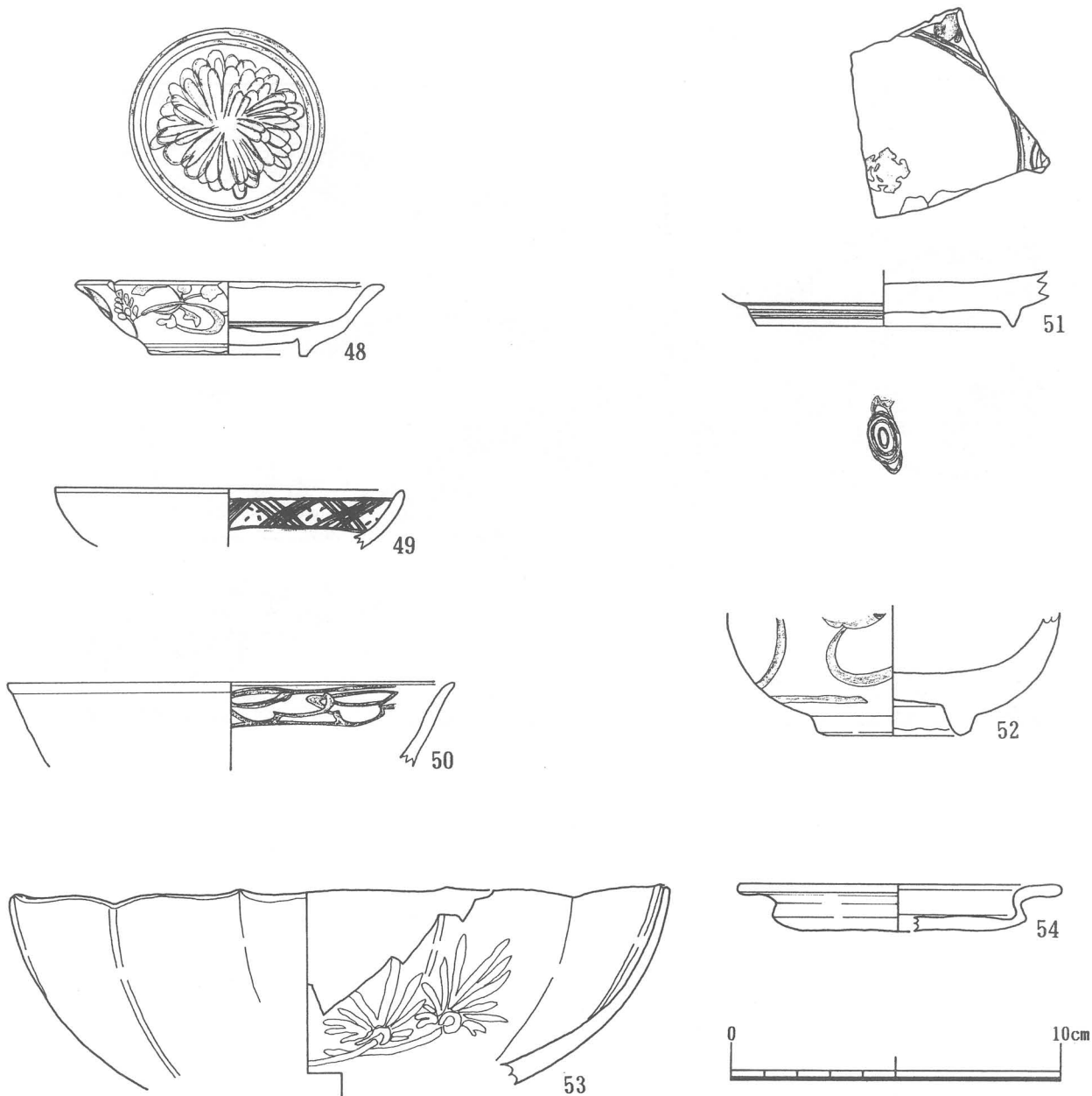
38. 39. 面子 (38. 備前焼転用 39. 瓦転用)

第13図 井戸内出土遺物実測図 (3)



40. 備前焼 43~47. 染付磁器

第14図 整地層出土遺物実測図(1)



48~52. 染付磁器 53. 白磁 54. 施釉陶器

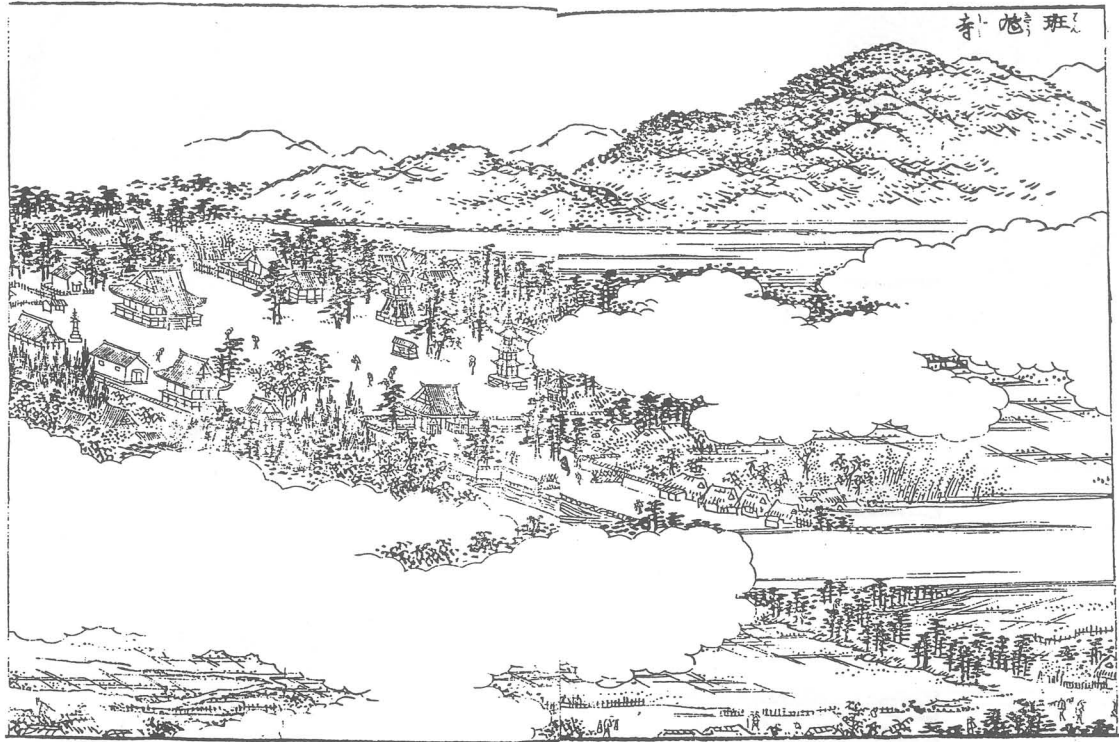
第15図 整地層出土遺物実測図(2)

10. まとめ

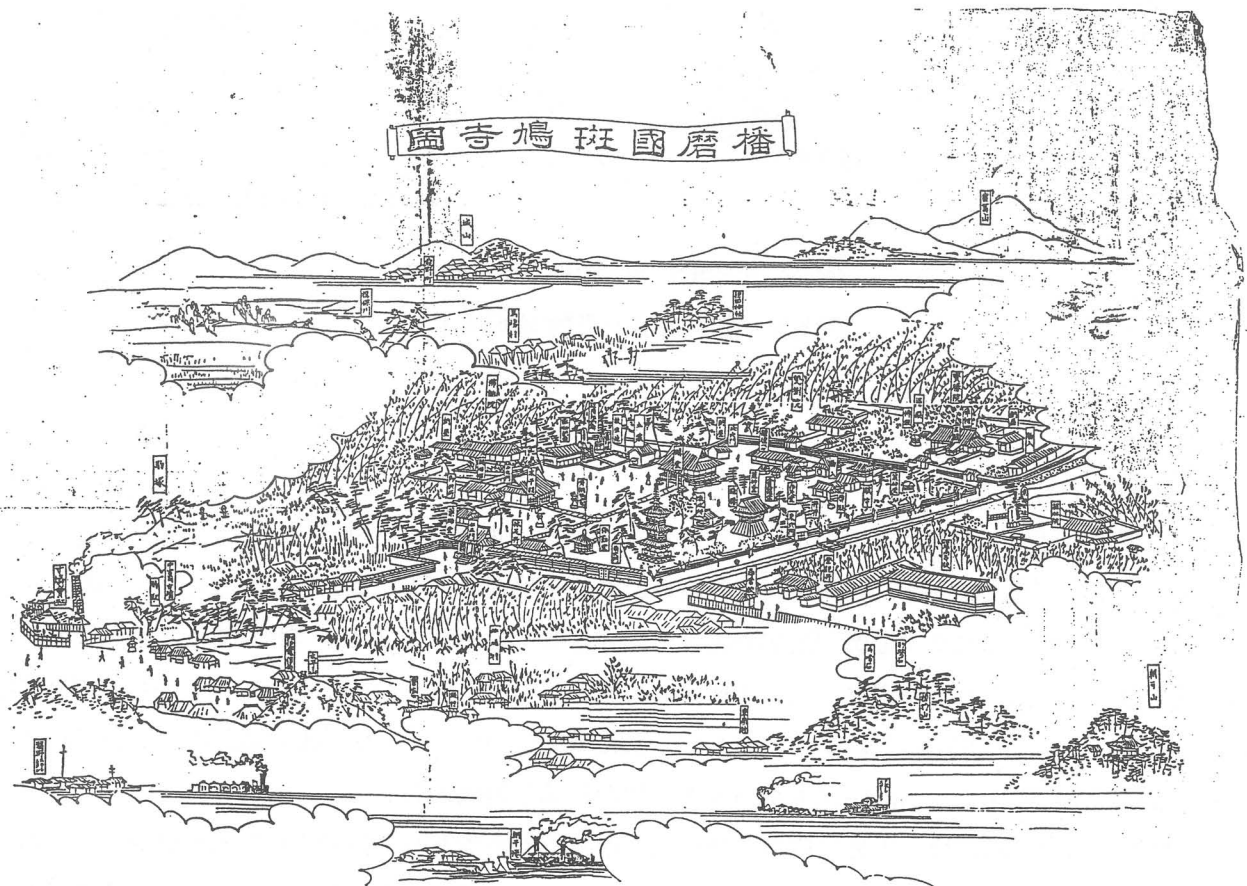
今回の調査の結果、斑鳩寺参道の現在は存在しない築地の西側基壇を確認することができた。

築地は、江戸時代文化元年(1804年)に刊行された『播磨名所巡覧図絵』の挿絵及び明治30年代後半に作成されたと考えられる『播磨国斑鳩寺図』や、作成時期は不明であるが『斑鳩寺二王前絵図』等に描かれており、検出された基壇はこれらの絵図と位置的にも照合するものである。また当初は内外に側溝を持っていたことも判明した。築地が取り壊された時期については、明治期の絵図及び石組井戸やその出土遺物等から考えて、明治時代末から大正時代初年頃と推測される。

今回検出した築地基壇は、内外に側溝を持つ大がかりなものであり、斑鳩寺創建時の姿を復元する手掛かりとして貴重な遺構であるため、兵庫県教育委員会並びに工事担当者と協議し、防火水槽の設置場所を変更するよう取り計らい、砂による遺構面の養生を施した後、埋め戻す保存処置をとった。

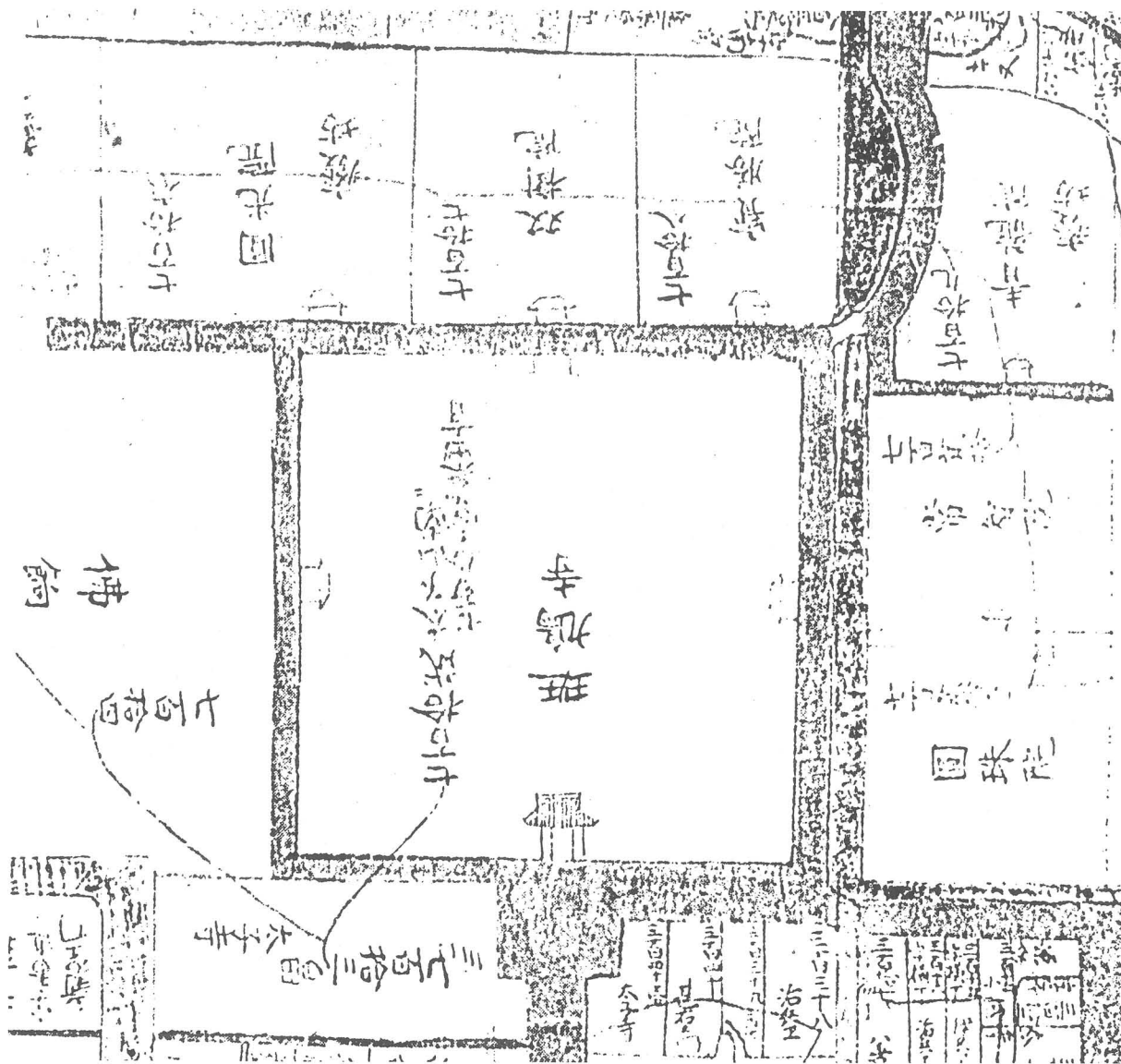


第16図 播磨名所巡覧図絵（文化元年 1804）



第17図 播磨國斑鳩寺園（年不詳 明治30年代後半？）

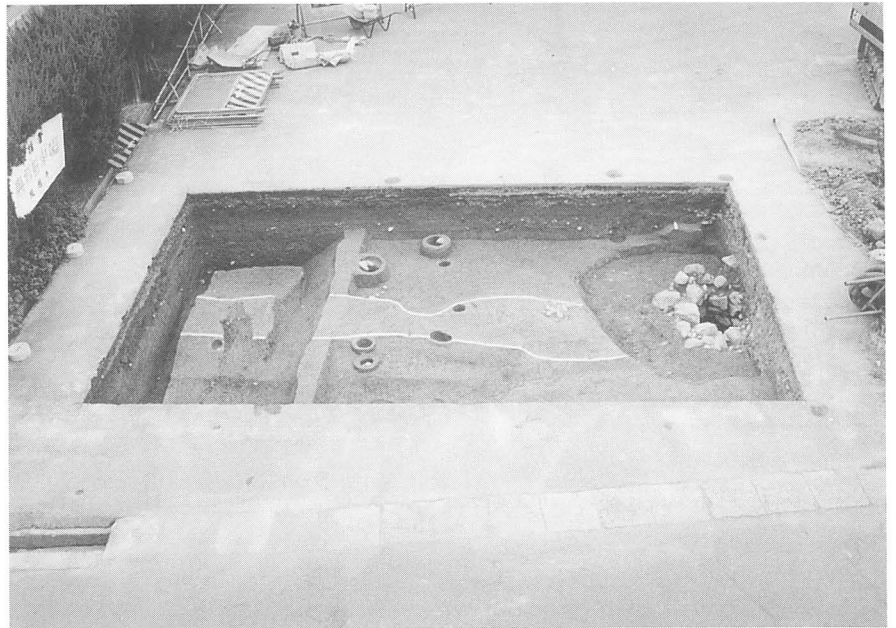
写真図版



播磨国揖東郡鶴村絵図（部分）



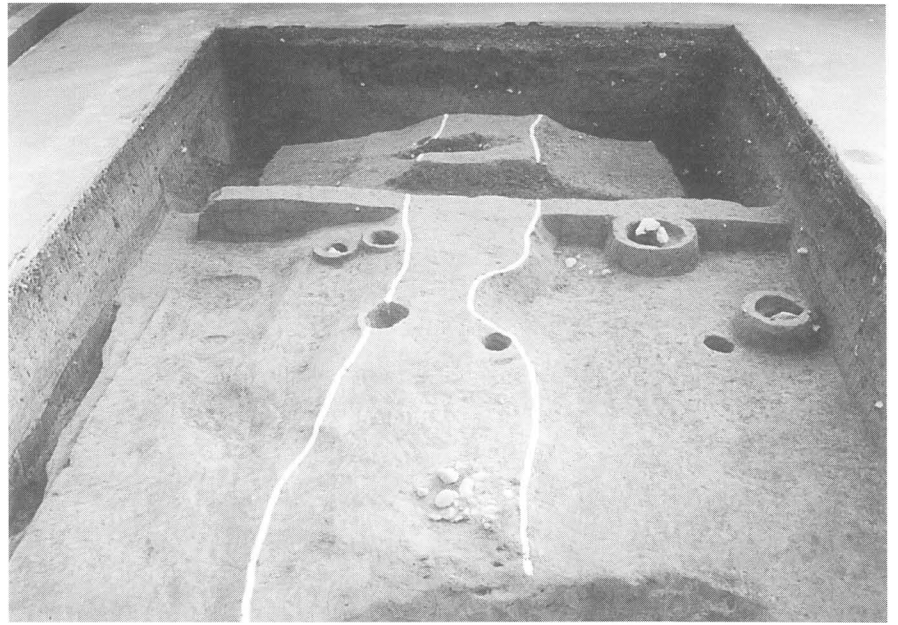
調査前（西から）



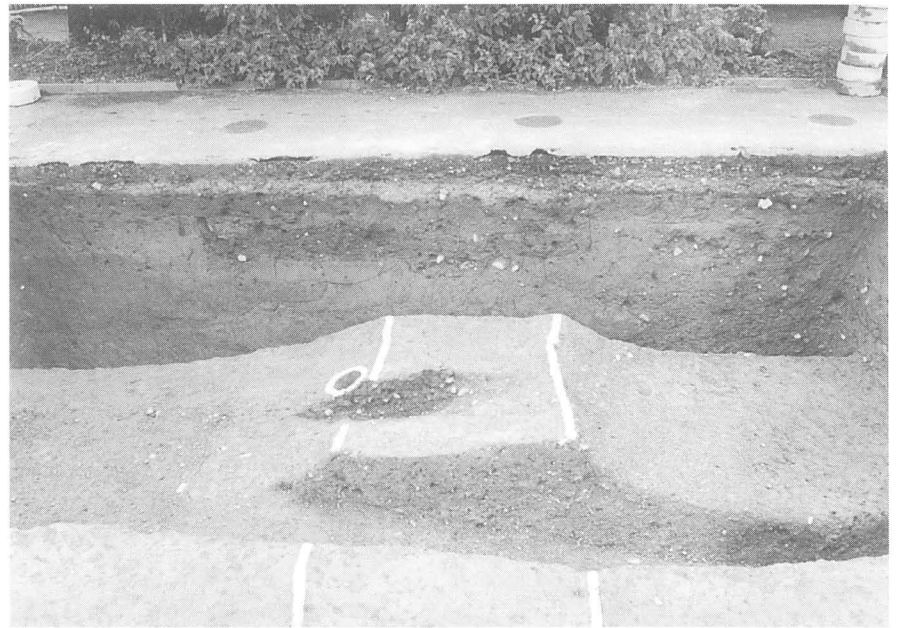
調査地全景（東から）



築地基壇と斑鳩寺



築地基壇（北から）



築地基壇土層



井戸（北から）

報告書抄録

ふりがな	いかるがでらいせきだい6じちょうさ							
書名	斑鳩寺遺跡 第6次調査							
副書名	防火水槽設置に先立つ埋蔵文化財発掘調査							
巻次								
シリーズ名	太子町文化財資料							
シリーズ番号	第64集							
編著者名	三村修次 海野浩幸							
編集機関	太子町教育委員会							
所在地	〒671-1561 揖保郡太子町鵜1369-1 TEL. 0792-77-1010							
発行年月日	西暦 2001年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いかるが 斑鳩寺遺跡	いぼぐん たいしちょう いかるが 揖保郡太子町鵜 おにょうま 字二王前	284645	450010	34度 50分 00秒	134度 34分 42秒	1996.12.1) 1996.12.27	45m ²	防火水槽設置
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
斑鳩寺遺跡	寺院	弥生・中世 近世	築地基壇・柱穴・土坑 井戸		弥生式土器・須恵器・土 師器・青磁・近世陶磁器 瓦		斑鳩寺参道西側築地基壇 を検出	

